

## 富岡町 資料

### (1) 災害公営住宅におけるコミュニティスペースの確保策

・単なる共有スペースではなく、住民同士の交流や絆が生まれるコミュニティスペースのあり方の検討

→災害公営住宅の建設にあたってはこれまでも「長期避難者の生活拠点に関する打ち合わせ」などの場において現在予備室を確保して共有スペースの確保をすることや先に計画案の示された郡山市日和田地区に建設される復興公営住宅においてもコミュニティ集会室や屋外のコミュニティスペースが確保されているところである。(資料1)

また、岩手県釜石市のUR建設譲渡の型式で建設された災害公営住宅では外廊下部分を一部拡張して所謂、井戸端会議のできるスペースを確保する工夫が実施されている例がある。(資料2)

### (2) 避難者のコミュニティを形成するためのソフト施策

・定期的な交流事業や有効な情報発信、相談センターの設置等ソフト施策のあり方の検討。

→富岡町では現在、社会福祉協議会のなかに「富岡町生活復興支援センター（おだがいさまセンター）」を設置し特に郡山地区の応急仮設住宅を中心とした交流イベント事業の展開や広報誌の発行などの業務を実施している。(資料3)

また、応急仮設住宅自治会の立ち上げを行い現在、富岡町の管理する応急仮設住宅13団地(資料4)全てにおいて自主的なコミュニティが形成されている。また借上げ住宅に避難する住民から形成される借上げ住宅自治会5団体、町が展開する絆サロン5箇所(資料5)がある。

### (3) 避難者の健康的な生活を確保するためのソフト施策

・心のケア、子育て支援、高齢者の見守りなど避難者の健康的な生活を確保するための施策の継続、体制の確保等。特に情報不足等が懸念される借上げ住宅に避難している方も含めた施策の検討。

→富岡町の管理する応急仮設住宅では各団地ごとに福島県の補助事業「絆支援事業」を受けて連絡員を配置している。毎日、業務として高齢者世帯の見廻りはもとより精神疾患のある住民や入居者間のトラブル及び住宅管理の問題を町と連携して解決している。

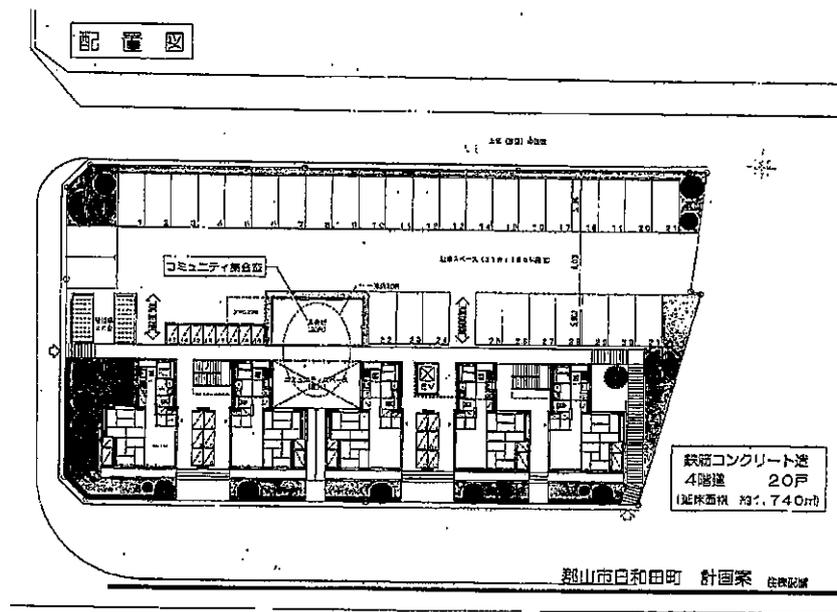
その他、町社会福祉協議会の相談員も応急仮設住宅内に常駐し連携した取り組みを行なうほか借上げ住宅入居者への巡回の取り組みも始まっている。

### (4) 避難者と受け入れ自治体住民との交流の場の確保策

・避難者と近隣住民との交流施策等の検討。

→避難者と受け入れ自治体住民との交流の場としては富岡町が管理する応急仮設住宅内においては応急仮設住宅の立地する周辺住民との交流を目的としたスポーツの共催(グランドゴルフ)や座談会をとおしての立地地区との交流などの事例がある。

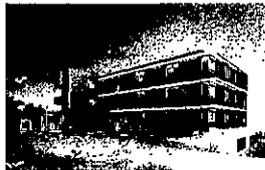
# 資料 1



# 資料 2

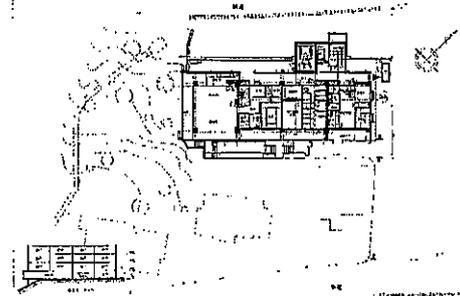
(参考) 1. 概要

- 1. 工事名称 翔山市日和田町不燃物処理センター
- 2. 工事概要 RC造4階建て 20戸及び集会所
- 3. 工事期間 平成25年11月～平成26年12月 (概算 1年程度)
- 4. 所在地 名古屋市
- 5. 発注者 株式会社大塚建設事務所
- 6. 工事監理 株式会社大塚建設事務所
- 7. 施工者 株式会社大塚建設事務所
- 8. 完成予想図

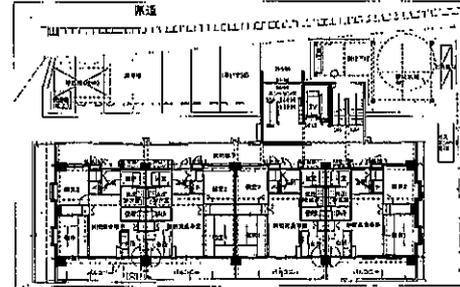


完成予想図 (外観イメージ)

9. 研究用及び1階平面図



10. 2階平面図



### 資料3 富岡町生活復興支援センター「おだがいさまセンター」



### 資料4 富岡町の管理する応急仮設住宅一覧

	場所	住所	集会所/談話室	建設戸数	棟数
三春地区	熊耳応急仮設住宅(2DK)	田村郡三春町大字熊耳字南原31-2	1/0	86	17
	平沢応急仮設住宅(2DK)	田村郡三春町大字平沢字谷戸500-1	1/0	84	11
	三春の里応急仮設住宅(2DK)	田村郡三春町西字石畑487-1	0/1	18	3
	もみじ山応急仮設住宅(2DK)	田村郡三春町西字石畑374	0/1	34	5
	沢石応急仮設住宅(2DK)	田村郡三春町大字沢石字櫛梨214-1	1/0	58	7
	柴原萩久保応急仮設住宅(1DK)	田村郡三春町大字柴原字萩久保80-1	0/1	10	11
	柴原萩久保応急仮設住宅(2DK)			30	
柴原萩久保応急仮設住宅(3K)	10				
郡山地区	郡山市南一丁目応急仮設住宅(2DK)	郡山市南1丁目94	1/0	166	20
	緑ヶ丘東部応急仮設住宅(1DK)	郡山市緑ヶ丘東七丁目27-1	1/1	45	29
	緑ヶ丘東部応急仮設住宅(2DK)			80	
	緑ヶ丘東部応急仮設住宅(3K)			44	
大玉地区	富田町若宮前応急仮設住宅(2DK)	郡山市富田町若宮前32	2/0	287	28
いわき地区	安達太良応急仮設住宅(2DK)	安達郡大玉村玉井字横堀平158-16	5/0	630	93
	好間応急仮設住宅(1K/2DK/3K)	いわき市上好間字忍滑32	1/0	64	16
	泉玉露応急仮設住宅(1K/2DK/3K)	いわき市泉玉露二丁目10番1	2/0	220	39
	いわき市平下高久応急仮設住宅(2DK/3K)	いわき市平下高久字下原178	1/0	90	17

### 資料5

#### 絆サロン一覧

名称	地区	郵便番号	住所	電話番号	開所時間	備考
ふくしま絆カフェ富岡	郡山市	963-8822	郡山市昭和2丁目17-2	024-953-4133	9:30-17:30	日曜休館
富岡町さくらサロン	福島市	980-8253	福島市泉字泉川15-7	024-557-8780	10:00-16:00	休日休館
いわき平交流サロン	いわき市平	970-8026	いわき市平字新田前6-10	050-3808-2864	10:00-17:00 (9:15-18:00)	6月以降第1月曜 休館
いわき四倉交流サロン	いわき市四倉	979-0201	いわき市四倉町字2丁目115	0246-38-4355	10:00-17:00 (9:00-17:45)	6月以降第2月曜 休館
いわき泉玉露 交流サロン	いわき市泉玉露	971-8172	いわき市泉玉露4丁目1-11	0246-38-4242	10:00-17:00 (8:45-17:30)	休日休館

#### 住民団体一覧

- ・ さくら会・富岡イン柏崎 新潟県柏崎市
- ・ 郡山方部借上げ住宅居住者会 郡山市
- ・ さくらの会 いわき市
- ・ 福島市及び県北地区在住富岡町民自治会 福島市
- ・ いわき市在住富岡町民すみれ会 いわき市

1 仮設住宅等でのコミュニティ維持施策

事業名	事業費		事業内容	課題
		内、一般財源		
避難者コミュニティ補助金	7,840,000	7,840,000	仮設住宅自治会の運営経費及び大熊町民で構成する団体への活動資金	
仮設住宅自治会役員謝礼	6,120,000	6,120,000	自治会の役員に対する謝礼	
仮設住宅支援員配置	25,341,000	-	県の絆づくり応援事業を活用。行政機関とのつなぎ役、仮設住宅の管理業務に携わる	・継続的な予算措置 ・短期間で支援員が入れ替わる
仮設住宅巡回支援バス	7,321,000	-	仮設住宅間と役場、病院、ショッピングセンターを巡回するバスを運行	
おおくまサロンゆっくりすっぺ	958,000	958,000	会津若松市内にサロン等開催のためのスペースを提供	施設の老朽化
ふるさとまつり開催	10,000,000	10,000,000	町民の絆づくりのため会津若松市、いわき市の仮設住宅敷地内で実施	
きずな保全ICT活用事業	190,453,000	190,453,000	タブレット端末を用いて町の情報を提供	

2 今後の実施要望

事業名	事業費		事業内容	課題
		内、一般財源		
復興支援員の配置	-	-	主に首都圏で活動する復興支援員の配置。交流事業参加やコミュニティ立ち上げ支援など	人材の確保
県外避難者交流イベントの開催	-	-	町主催の避難者交流イベントの実施	

3 各種団体の事業要望

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題

生活拠点関係ソフト施策各市町村実施状況調査(双葉町)

1 市町村の主要事業(生活拠点関連) 既存資料があればその資料で代替する。

事業名	事業費	内、一般財源		事業内容
ふるさと絆通信作成業務	3,600,000	3,600,000		住民避難状況等各種情報を収集し、広報紙に掲載の上町民に発信する。
仮設住宅等自治会運営補助	6,000,000	6,000,000		仮設住宅自治会や住民団体活動の支援する。 @3,500/戸
緊急通報装置貸与事業	3,968,000	0		一人暮らし高齢者や重度障がい者へ緊急通報装置を貸与し保健福祉向上に繋げる。
高齢者等サポート拠点設置事業	7,500,000	0		高齢者の福祉増進のための拠点を設置し、運営する。
健康支援事業	25,815,000	12,916,000		全国に避難する町民が温泉休養施設等に一同に集まり絆維持と心身の健康保持を図る。
盆踊り助成	4,000,000	4,000,000		仮設住宅等において絆づくりのための盆踊りに助成する。@25万円*16箇所
ふたばっ子体験活動応援事業(再開の集い事業)	11,560,000	11,560,000		ふるさと双葉の仲間として、小・中子ども達が友情をつなぐために再会の集いを実施する。
復興支援員委託業務	47,000,000	0		町民間及び避難先住民との新たなコミュニティづくりを支援。いわき事務所、郡山支所、埼玉支所に6人配置。
祭り・イベント事業補助	1,000,000	1,000,000		規約に基づく団体組織が実施する祭り等への補助
復興支援バス運行事業				いわき市、郡山市、福島市内避難高齢者等の交通手段確保のため、復興支援バスを運行する。

(上記事業は今後も継続要望するとともに、更なる新事業を検討中)

2 各種団体の動向(活動内容、要望、課題)

(1)自治会、住民組織等

団体名	特徴的な活動内容	要望
双葉町県中地区借上げ住宅自治会	H25.4郡山市に絆カフェ「せんだん広場」を開設し、住民の交流の機会を設ける	
社団法人情報環境コミュニケーションズ	H24.10旧騎西高校(埼玉県加須市)に町民が自由に交流できる場としてカフェをオープン	

(2)社会福祉協議会、民生児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア団体  
ふれあいサロンや配食サービス等を記載する。

団体名	特徴的な活動内容	要望
社会福祉協議会	介護予防事業「にこにこサロン」を開催	
民生児童委員協議会	毎月定例会を開催し住民課題等訪問活動内容の情報を共有し支援活動に反映。	

(3)高齢者支援団体

施設福祉やデイサービス、訪問活動等を記載する。

団体名	特徴的な活動内容	要望
社会福祉法人双葉町社会福祉協議会	高齢者等サポートセンター「ひだまり」の運営。	
社会福祉法人ふたば福祉会	特別養護老人ホーム「せんだん」は再開に向け検討中	

(4)子育て支援団体

つどいのひろばや育児サロン、ファミリーサポートセンター等の活動を記載する。

団体名	特徴的な活動内容	要望
育児ボランティア団体	H23.4から埼玉県加須市騎西高校にて、育児相談・一時預かり保育実施	

(5)その他福祉団体

団体名	特徴的な活動内容	要望
JDF被災地障がい者支援センターふくしま	H23.9、県委託事業として郡山市で交流サロン「しんせい」を開設。	

(6)まちづくり団体、NPO他

団体名	特徴的な活動内容	要望
行政区	行政区住民再開の集い実施 総会、交流会実施	交通費と宿泊費の一部助成
避難先NPO等からの支援あり		

(7)商工会、商店街組織、青年会議所、事業所

仮設住宅内再開事業所等、主な再開事業所等を記載する。

団体名	特徴的な活動内容	要望
いわき市南台仮設住宅内にフイチェーン再開		

## 1 仮設住宅等でのコミュニティ維持施策

事業名	事業内容	課題
町民交流会・交流イベント等開催事業	県内外避難町民による交流会等を開催する。	・参加人数が集まらない ・交流のみでない取り組みが必要 ・自主的な集まりをサポートする方向も検討 ・既存団体との連携
復興支援員導入事業	県内外避難町民同士や行政とのつなぎ役である復興支援員を配置する。	・その地域に合わせた支援の形の検討 ・支援員報酬や給料の柔軟化(扶養など)
避難農業者一時就農等支援事業	浪江町に戻り農業を再開するまでの間、県内避難先において一時的に農業を再開することを支援する。	
仮設・借り上げ住宅自治会運営等助成事業	仮設住宅自治会や住民団体活動の支援する。	・補助金ありきの事業からの脱却 ・自主的活動への補助につなげたい
小中学校交流事業	離れ離れになった子ども達の絆を将来にわかって保つため交流会を開催する。	
浪江のこころプロジェクト フォトビジョン運用事業	なみえのこころ通信を作成し、配布する。 フォトビジョンにより情報を発信する。	
仮設診療所設置	仮設の診療所を設置する。 二本松市安達運動場仮設住宅に津島診療所を開設。	二本松市の生活拠点に移転したい。
浪江町みんなのれんらく帳	NTTタウンページの協力により避難先住所、電話番号を掲載したれんらく帳を発行する。	・更新時期
生活交流バスの運行	行政や医療機関へのバスの運行	バス1台、運転手1人で運行している。
親と子の遊びの教室	親子遊びを行う場を設け、子育て世帯の交流の機会を創出する。	・会場確保が困難 ・ボランティアで子守の際の保険
健康づくりのための運動教室	健康づくりを推進するため、運動教室を開催する。	・会場確保が困難
社会福祉法人浪江町社会福祉協議会	26名の生活支援相談員を配置し、見守り活動等を実施。	・相談員さんの心のケア ・専門職でないことから住民との関与度合い ・つなぎ役の現状からの拡充
浪江ネットワークしらか	会員交流会、勉強会を開催。	
なみえ絆いわき会	日本赤十字看護大学の協力を得て、町と協働で、いわき市に「まちの保健室」をイメージとした健康支援の拠点を開設。見守り活動やサロンも開催。	
福島中央浪江自治会	見守り隊の結成、会員交流会、勉強会の開催。	
いい仲間つくる浪会	会員交流会の開催。	
各仮設住宅	レクリエーションダンスやカラオケ、手芸と行った趣味を通じた交流会の開催。	
NPO法人Jin	サポートセンターふくしま、杉内、本宮の運営。各仮設住宅において体操教室を開催。	
社会福祉法人博文会	サポートセンター安達、桑折の運営。 特別養護老人ホーム「オンフル双葉」の再開見通しが立っていない。	サポートセンター安達の機能を二本松市の生活拠点に移したい。
医療法人伸裕会		老人保健施設「責布祢」の再開見通しが立っていない。
特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ	NPO法人まちづくり二本松と一緒に、町外コミュニティに関する提言を策定。 仮設住宅でのデマンドタクシー実証運行中	

生活拠点関係ソフト施策各市町村実施状況調査(葛尾村)

1 市町村の主要事業(生活拠点関連)

事業名	事業費	内、一般財源		事業内容
ひろがるわ活動推進事業	5,010,000	5,010,000		11行政区、10仮設住宅団地自治会へ絆づくり推進事業助成金を交付
支え合いセンター運営事業	17,963,000	17,963,000		仮設団地4カ所に支え合いセンターを設置し、8名の委託職員を配置し、10カ所の仮設団地内の声掛け、巡視、イベント運営、広報物配布を実施し、仮設団地内の安全・安心・活性化を図っている。支え合いセンターは、 ①住民が自由に集まり、困りごと等を表明することができる「たまり場」 ②住民が役割を担うことによる相互の「支え合いの場」 ③住民の孤立、孤独の防止等を図る「見守りの場」 ④住民が生活の復興、まちの復興に向けて学び合いまちづくりに「参加する場」 以上のような機能を持ち、自由に集まることのできる場所とし、さらに仮設入居者の安否確認、孤立や生活不活発病防止活動と仕事づくりや仕事づくりを行います。
避難農業者一時就農等支援事業	1,000,000		0	葛尾村に戻り農業を再開するまでの間、県内避難先において一時的に農業を再開することを支援する。
高齢者等サポート拠点事業				葛尾村サポートセンター「三春の里 みどり荘」を設置し、日常生活等の総合相談等を行う。
心のケア、精神保健福祉事業				引きこもりや、うつ、アルコール依存者へ対応する。
ベビマクラブ				妊婦および乳児とその親を対象に、避難による妊産婦の心理的ストレスを軽減することを目的としたリラクゼーションと育児についての知識の普及を目的とした健康教室や育児相談を、NPOビーンズ福島の支援により月1回実施する。
遊びの教室				満1～3歳までの児と親を対象に、避難による児とその親のストレスを軽減するため、親子遊びと心理相談を福島県臨床心理士会の支援により月1回実施する。
葛尾特別警戒隊事業				葛尾村内を24時間体制でパトロールを実施(4班体制45名)
葛尾警戒隊健康相談会				警戒隊を対象に月1回健康相談会を開催
村社会福祉協議会生活支援事業「おたがいさま」				「おたがいさま」事業は、一人暮らし、高齢者等で交通手段のない方等に(利用会員登録)、病院、買い物、金融機関等の移動手段を確保します。
楽ちんクッキング				避難により、世帯が分かれたことで自炊をするようになった住民に電子レンジで簡単にできる料理教室を開催。
体操実技指導				避難により足腰の筋力低下予防のため、理学療法士による戸別訪問を実施。

(今後の事業要望)

事業名	事業費	内、一般財源		事業内容

2 各種団体の動向(活動内容、要望、課題)

(1)自治会、住民組織等

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
各行政区	懇親会・ボランティア活動		
各自治会(仮設団地)	懇親会・ボランティア活動		

(2)社会福祉協議会、民生児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア団体  
ふれあいサロンや配食サービス等。

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
村社会福祉協議会	一人暮らし者等に配食サービス		
村社会福祉協議会	村老人クラブ連合会と連携し、各種サロン事業を実施(笑ってみっ会、すこやかたいそう教室、カラオケ教室、ランドゴルフ、マーじゃん等)		

(3)高齢者支援団体  
施設福祉やデイサービス、訪問活動等。

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
社会福祉法人葛尾村社会福祉協議会	高齢者等サポートセンター「三春の里みどり荘」の運営。		
村	村社会福祉協議会と連携し保健師、生活相談員が毎月情報交換会を実施(訪問の状況、健康状態)		

## (4) まちづくり団体、NPO他

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
かつらお村づくり協議会	若者の意見集約・独自イベント開催		資金
かつらおスポーツクラブ	スポーツ交流・県内スポーツイベントへの協力参加・子供交流イベント開催		資金

(5) 商工会、商店街組織、青年会議所、事業所  
仮設住宅内再開事業所等、主な再開事業所等。

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
葛尾村商工会	応急仮設団地内仮設店舗の水道光熱費・仮設トイレ維持管理費の支援		
葛尾村商工会	再開会員事業所で利用できるプレミアム商品券の販売		

## (6) 農業協同組合、農業団体、農業者

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
はたけクラブ(仮設)	農地を借りて野菜の作付け・団地周辺の美化		
個人	農地を借りて野菜の作付け(小規模)		

## (7) PTA、学習支援団体他

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題
葛尾小学校PTA	少人数教育への対応	区域外就学の要件改正 例えば、避難先自治体で学校開設した場合は半ば強制的に就学義務を設ける等	町内の他校へ区域外就学した子が戻らない

1 仮設住宅等でのコミュニティ維持施策

事業名	事業費 (千円)	事業内容		課題
		内、一般財源		
仮設住宅入居高齢者等健康管理業務	9,160		仮設住宅等の高齢者等を対象に運動教室などを市内の医院やフィットネスクラブの協力を得て実施している。	2週間に1回程度教室を実施している。その間、自治会や個人が自主的に継続して運動できるよう支援が必要であるが、そのためのマンパワーが不足している。
ふれあい交流事業	1,717		主に借上げ住宅の方を対象に、運動教室などを村社会福祉協議会へ委託し実施している。	同上
園芸療法による心のケア事業	1,240		仮設住宅等における園芸教室、野菜や花の植え付けを行うことによって、生きがいづくり・心のケア・健康維持を図る。村社会福祉協議会へ委託。	
新しいコミュニティづくり助成事業補助金	10,000	10,000	仮設住宅等で新たに立ち上げた自治会及び村民で作る団体に対して、コミュニティづくりのためのソフト事業に対して支援する。	
自治組織運営交付金	3,533	3,533	仮設住宅等で新たに立ち上げた自治会等の運営経費に対して支援する。	
村民ふれあい号事業	7,030	7,030	村民の交流を図るため、研修旅行を実施する。	
村民の声ネットワークシステム運用保守	5,935		H24.8全戸にタブレット情報端末を配付し、村からの情報発信等を行っており、その維持管理経費。	高齢者の利用率を上げること
いやしの宿運営費	18,597		村民の癒しの場とコミュニケーション維持を図るために、飯坂温泉の施設を賃借し、運営管理する経費。	施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加
までいな絆事業	3,000	3,000	年に1度、村民のふれあい集会を実施する。	
一時帰宅支援事業	21,280		避難先から村内の自宅まで送迎バスを運行させる。8月2日から運行開始。	
コミュニティバス運行事業	10,249	1,215	仮設住宅等から医療機関や買い物等へのバスを運行する。	

2 今後の実施要望

事業名	事業費	事業内容		課題
		内、一般財源		

3 各種団体の事業要望

団体名	特徴的な活動内容	要望	課題